

8/3 洞爺湖の自然環境維持に パドラーが町に寄付金

パドラー（金子ケニー代表取締役）が、洞爺湖で8月1、2日に開催したSUP（スタンドアップ・パドルボード）の大会「レイク・トーヤ・パドル・サミット」の参加費の一部を町に寄付しました。

金子さんは「洞爺湖の豊かな自然環境を守り、未来へ引き継ぐための環境保全・環境美化活動に役立ててほしいです」と下道町長に寄付金を手渡ししました。



下道町長に寄付金を手渡しする金子さん（左から2人目）

7/27・8/4 永遠の平和を願って 洞爺湖町戦没者追悼式

洞爺湖町戦没者追悼式が7月27日に洞爺小公園忠魂碑前、8月4日にあぶたふれ合いセンターで行われました。

下道町長が「戦争の悲惨さ、平和の尊さ、命の重みを心に刻み、二度と悲惨な歴史を繰り返してはなりません」と式辞を述べ、虻田、洞爺中学校の生徒が平和のメッセージを読み上げました。また、洞爺湖町遺族会、村英昭会長、鈴木孝副会長なども献花を行い、戦没者に追悼の意を表しました。



虻田地区戦没者追悼式



洞爺地区戦没者追悼式

8/11 湖底に生きる洞爺湖の自然 シュノーケリング体験

洞爺湖の環境保全などが目的の「洞爺湖エコロジカル・パートナーシップ・プロジェクト」の一環として、シュノーケリング体験が行われました。

道内外から親子連れなどが参加。専門ダイバーの指導の下、湖に潜って在来水草のクロモヤリユウノヒゲモを観察し、湖底に息づく生物の営みに理解を深めました。洞爺湖での水中の生態系観察ツアーは初めてで、町は今回の成果をもとに今後も環境保全の取組を推進します。



シュノーケリングで水中を観察する参加者

8/5 交流と絆を深める 親善訪問使節団歓迎式

姉妹都市提携を結んでいる神奈川県箱根町から親善使節団として箱根中学校の生徒6人が来町しました。

役場防災研修ホールで行われた歓迎式では自己紹介に続き、「洞爺湖でのバナナボートが楽しみです」「洞爺湖町のおいしいものが食べたいです」など、体験してみたいことを発表。

7日まで3日間の滞在中、町の中学生は交流と絆を深め、たくさんさんの思い出を作りました。



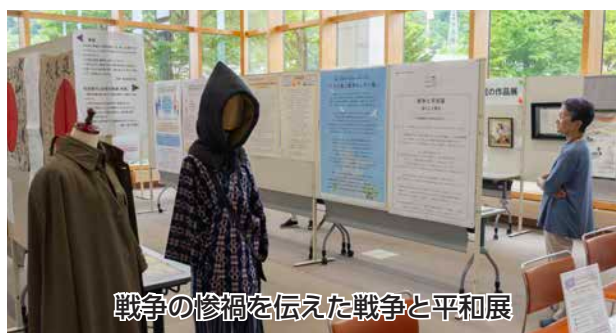
歓迎式で自己紹介をする箱根中の生徒

8/20

戦火の記録を知る 戦争と平和展

戦争の記録を学び、平和について考える「戦争と平和展」が、役場本庁舎ととうや水の駅で行われました。

出征する兵士のために作られた「出征旗」や、イスラエルによる攻撃を受けたパレスチナの子どもたちが書いた絵などが展示されました。来場者に、戦争のない世界をつくるために大切なことを尋ねる投票コーナーも設けられ、「戦争をしない約束を大切にすること」などに多くの票が集まっていました。



戦争の惨禍を伝えた戦争と平和展

8/17

洞爺湖町のためにできること 国際ロータリーが表敬訪問

国際ロータリー第2510地区（北海道西部）の古野重幸ガバナー（札幌ロータリークラブ）が下道町長を表敬訪問しました。

下道町長が「この町には、入江・高砂貝塚と洞爺湖有珠山ジオパークの2つの世界遺産があります」と魅力を紹介すると、古野ガバナーは「洞爺湖の景色がとてもしばらしいと感じました。この地域のためにできることがあれば」と話し、地域振興などに意見を交わしました。



下道町長と意見を交わす古野ガバナー（中央）

8/26

洞爺湖町の魅力を観光客に 虻高生が模擬ガイド

虻田高校（佐々木雅治校長）の3年生12人が遊覧船での模擬観光ガイドを行いました。

虻田中学校1年生25人を対象に3班に分かれてガイドを実施。写真やイラストが入ったパネルを使い、町のイベントや特産品の紹介、洞爺湖や中島について説明をしたり、クイズを出しながらガイドしました。

ガイドした生徒は「中学生が真剣に聞いてくれたし、反応してくれてよかったです」と満足そうに話していました。



模擬ガイドを行う生徒たち

8/23

鉄人たちの熱きドラマ 北海道トライアスロン

洞爺湖から羊蹄山ろくを舞台に行われ、全国のアスリートが熱戦を繰り広げました。

約250人が出場し、水泳、自転車、ランニングで構成される最長162キロのコースでタイムを競いました。珍小島のスタート地点を出発した選手たちは、疲れや夏の日差しと戦いながらゴールを目指しました。自転車とランニングのみのコースも用意され、こちらも多くの選手が好記録を狙いました。



最初の種目の水泳に挑む選手